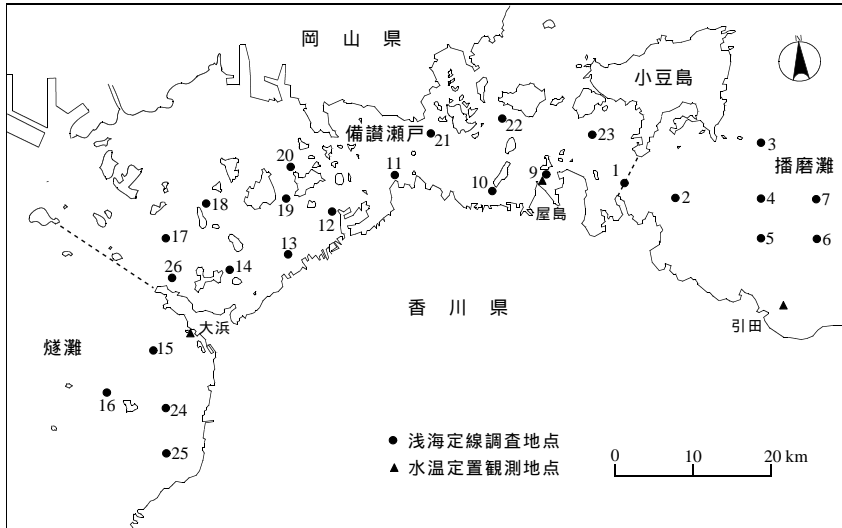


# 香川県漁海況速報 平成19年 5月 (H19-2号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成19年5月8日 (播磨灘) 7日 (備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めから著しく高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

平年偏差 = 平均値 - 平年値

		水温 ( )			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	15.2	14.2	13.5	32.4	32.6	32.6	9.2	5.48	5.28
	平年値	14.1	13.2	12.1	32.2	32.3	32.4	8.4	6.06	5.43
	平年偏差	1.2	1.0	1.4	0.2	0.3	0.2	0.8	-0.58	-0.15
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み	かなり低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	15.3	15.1	15.1	32.9	32.9	32.9	6.1	5.24	5.27
	平年値	14.1	13.8	13.7	32.5	32.5	32.5	5.7	5.64	5.59
	平年偏差	1.2	1.3	1.3	0.4	0.4	0.3	0.4	-0.40	-0.32
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	16.9	15.4	13.7	32.7	33.1	33.2	10.1	5.40	5.06
	平年値	15.6	13.6	12.6	32.8	32.9	33.1	10.3	5.73	5.17
	平年偏差	1.3	1.9	1.2	-0.1	0.1	0.1	-0.2	-0.33	-0.11
	状況	やや高め	著しく高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み

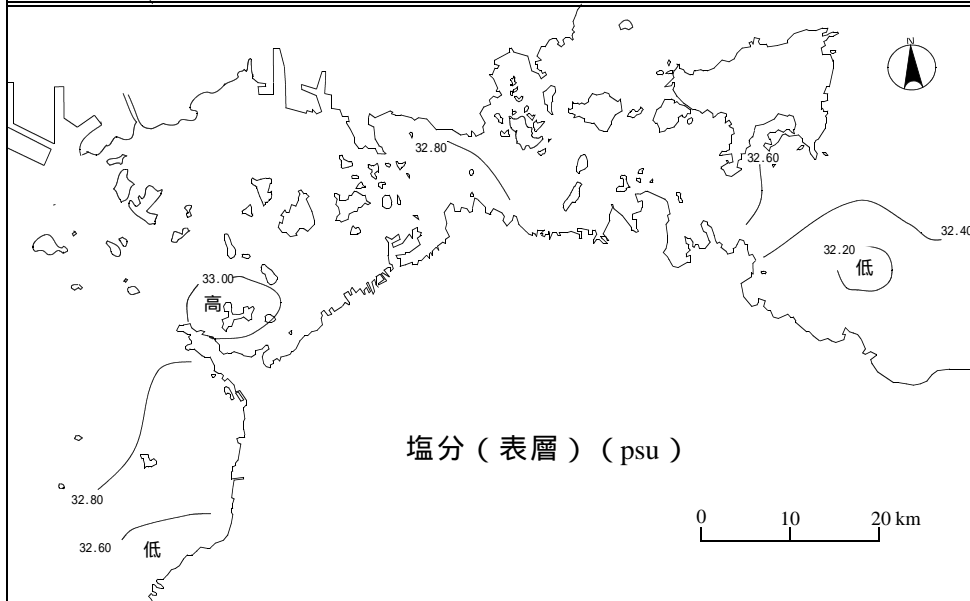
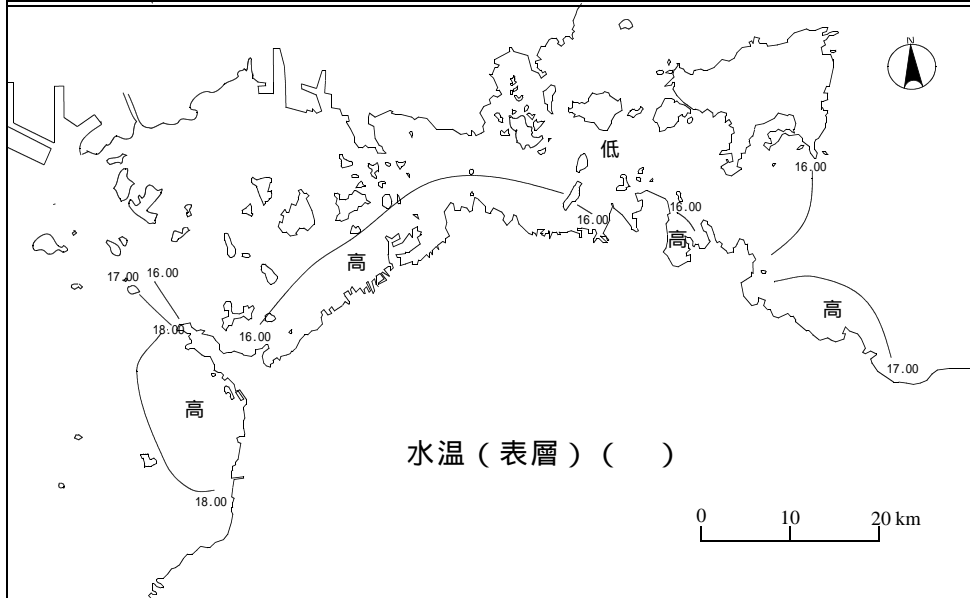
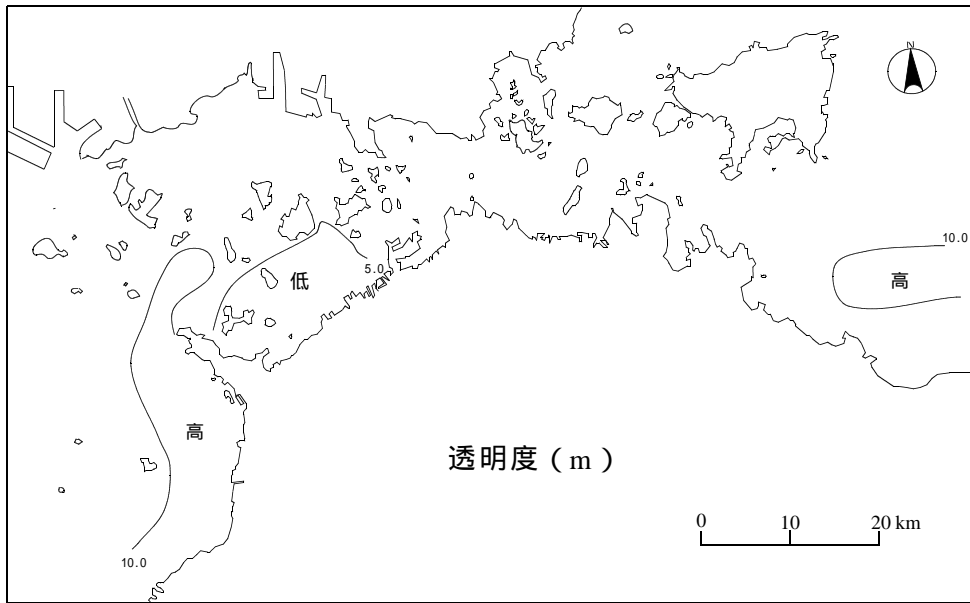
#### 平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



### 3) 定量観測(水温)

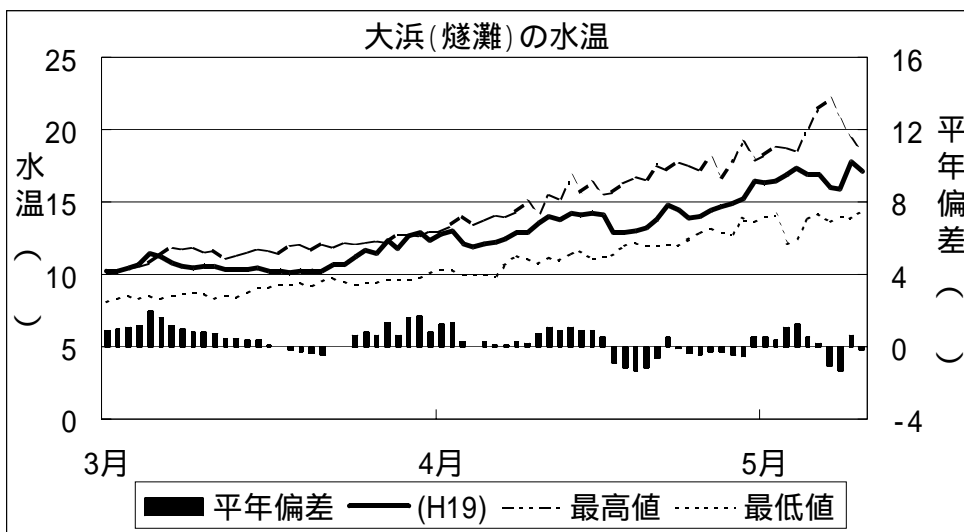
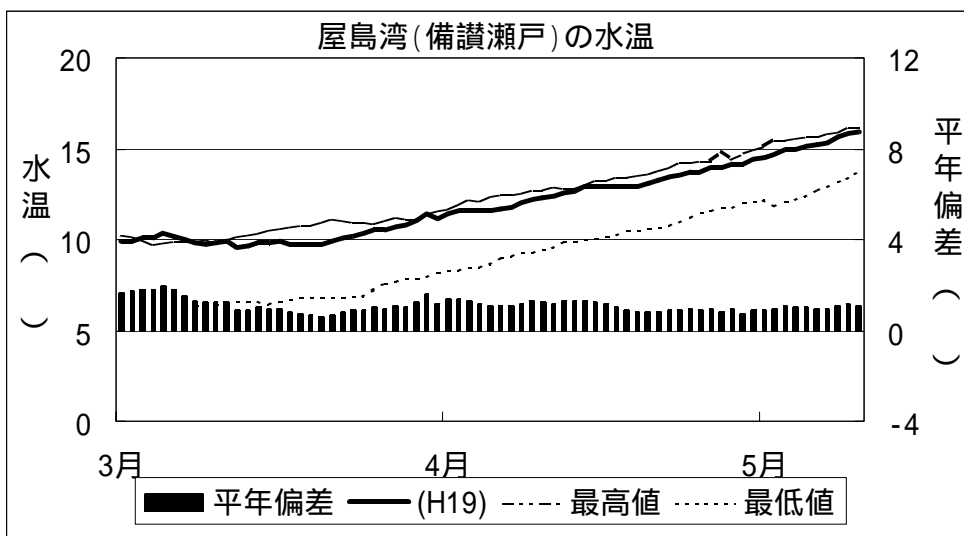
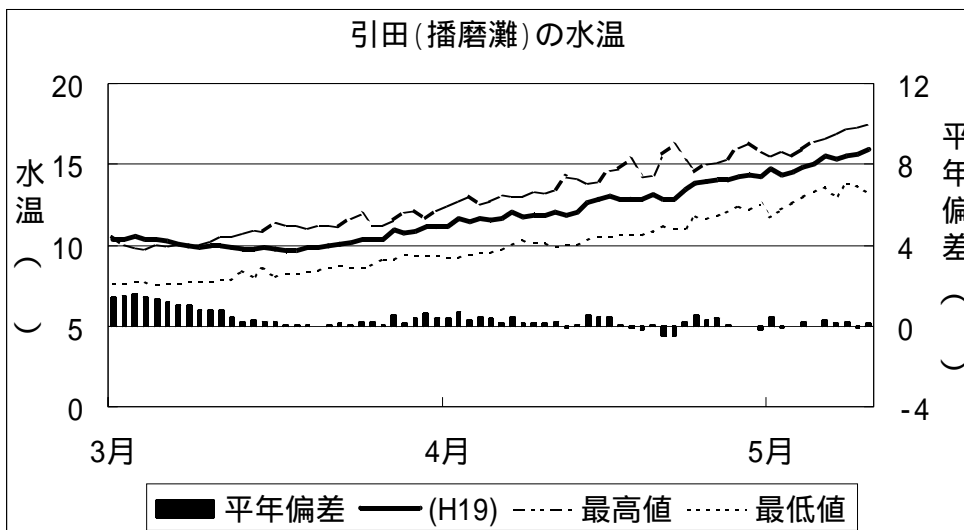
播磨灘(引田): 4月以降ほぼ平年並みで推移している。

備讃瀬戸(屋島): 4月以降やや高めからかなり高めで推移している。

燧灘(大浜): 4月当初は平年よりかなり高めであったが、以後やや低めからやや高めの間で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成18(2006)年

屋島: 昭和50(1975)~平成18(2006)年



#### 4) 赤潮 (4月16日～5月14日)

播磨灘：5月上旬南西部でノクシルカ赤潮の発生が確認された。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成19年5月8日 (播磨灘)、7日 (備讃瀬戸、燧灘)

出現量

個 (尾) / 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	4.25	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	12.25	2.63
備讃瀬戸平均	0.53	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	15.67	5.93
燧灘平均	64.71	19.43	0.00	0.00	0.00	0.00	30.14	10.43
総平均	16.50	4.63	0.00	0.00	0.00	0.00	18.13	6.10

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	39.4%	80.6%	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	44.5%	25.9%	0.0%	0.0%
燧灘平均	146.5%	830.3%	0.0%	0.0%
総平均	54.7%	221.5%	0.0%	0.0%

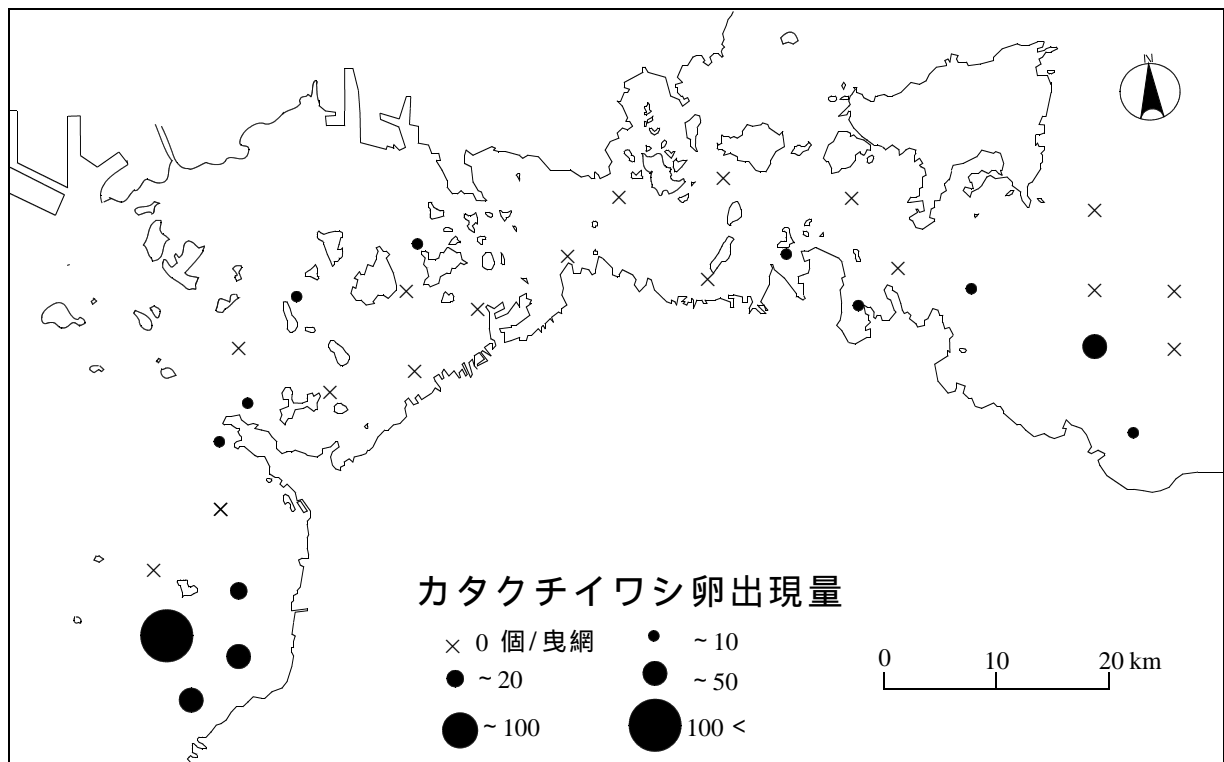
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55 (1980) ～平成18 (2006) 年度

マイワシ：平成5 (1993) ～平成18 (2006) 年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現は、次のとおりである。



## 2. 漁況

4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、主にメイタガレイ、マコガレイ、小エビ類が漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>柵網では主にボラ、コノシロ、マダイ、スズキ、ウマヅラハギ、イカ類が漁獲されている。</p> <p>建網では主にメイタガレイ、マコガレイ、カサゴ、メバルが漁獲されている。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月20日から操業が開始され、小豆島北部海域で多く漁獲されているが、漁獲量は前年よりやや少なめである。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、主にウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、マダイ、アイナメ、テナガダコが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の4月までの漁獲は、約1,200トで前年の約3分の1と不漁である。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月25日から操業が開始されているが、全般的に低調である。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、主にメイタガレイ、キス、シャコ、小エビ類、イカ類が漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>柵網ではマダイ、クロダイ、ウマヅラハギ、スズキ、ヒラメ、イカ類が漁獲されているが、ヒラメ、マダイが少ない。</p> <p>さより機船船びき網の漁獲量は100～130kg /日・隻で、前年より2～3割少ないが、大きさは中、大が主体である。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月20日から操業が開始され、前年よりやや多めである。</p>